

平成28年度 事業報告

平成28年度は、評議員会及び理事会による改善策を踏まえた事業計画に基づき、市当局をはじめ、関係者のご支援とご協力のもと、従業員一丸となり取組を進めた結果、一定の改善効果が得られた。

特に宿泊部門については、平成23年度に1万人を切った宿泊者数が、昨年度に引き続き1万6千人を上回ることとなった。

これについては、大型イベントが多かったことや、年度後半に実施した、客室の一部リフォームの効果が影響したものとみられる。

この結果、全体収支では、1,257万9千20円の赤字となったものの、キャッシュフローベースの収支（減価償却費の要因を除いた現金収支）では284万5千543円の黒字となり、5年連続黒字を維持することができた。

一方、平成8年に会館が建設されて以降、抜本的な施設改修を実施していないため、施設・設備の老朽化対策が喫緊の課題であり、そのための資金の確保とともに、長期的視野に立った運営計画の検討が、引き続きの課題となっている。

1. 部門別の状況について

(1) 宿泊部門

ネット予約の拡充、近隣ホテルの料金設定に応じた柔軟な料金プランでの運用に加え、広島市を中心とする大型イベントが多かったことによる特需的な宿泊需要や客室のリフォーム効果により、年間宿泊者数は16,510人となり、前年度より367人増加し、2年連続16,000人台を確保することができた。

(2) 飲食部門

飲食部門は、昨年10月21日をもって、昼の営業を休止し、宿泊客の朝食提供に特化したため、経常収支は前年度の377万円の赤字から、481万円の赤字に拡大した。

(3) 貸会場部門

貸会場部門は、利用者の減少に歯止めがかからず、年間収入が初めて500万円台を大きく下回る424万円にまで減少した。

要因としては、会場における営業活動を目的とする大規模利用者の減少、貸会場及び備品の老朽化、市役所新庁舎完成による貸会場の増加などが考えられ、今後もこの傾向が続くことが懸念される。

2. 施設運営について

(1) 保守管理業者の選定

複合建物全体の保守管理業務については、前年度と同様、(株)くれせんとの間で随意契約により委託した。

会館独自の5階以上の日常清掃、ベッドメイキング等についても、(株)くれせんとの間で業務委託契約を結んだ。

その他施設の保守管理等についても、前年と同様の業務委託契約を締結した。

(2) 設備機器の保守管理等

保守管理業者により、定期整備・点検を実施した。

故障及び不具合が生じた冷温水機や消防設備など、その都度修繕を行った。

日常的な保守点検は職員が交代で行っているが、設備の老朽化により故障は増加傾向にあり、引き続き課題となっている。

(3) 客室の改装

今年度は、ビュー・ポートくれ開業以来、初めて、客室等の改装を行った。

29室ある洋室の内、先行して実施した8階の洋室2室（シングル）の改装に加え、9階の洋室（シングル5室、ツイン2室）及び通路を改装し、9階全体のグレードアップを図った。

3. 職員関係について

本年5月1日現在の従業員は、正職員7名（館長を除く）、常用パート職員5名、アルバイト職員7名の総勢18名で会館運営を行っている。

賃金については、引き続き昇給を見合わせたため、職員にとって厳しい労働条件を強いることとなった。

賞与については、年間4ヶ月（夏2ヶ月・冬2ヶ月）を支給した。

4. 呉市からの借入金について

平成23年度以降返済を猶予されていた、呉市からの借入金4,350万円は、本年度確認された返済計画に基づき、290万円を返済し、4,060万円に縮減した。

5. きんろうプラザ指定管理について

呉市から指定管理者に選定されている、きんろうプラザの指定管理者業務については、本年度も引き続き誠実に業務を遂行した。